

経営比較分析表（平成30年度決算）

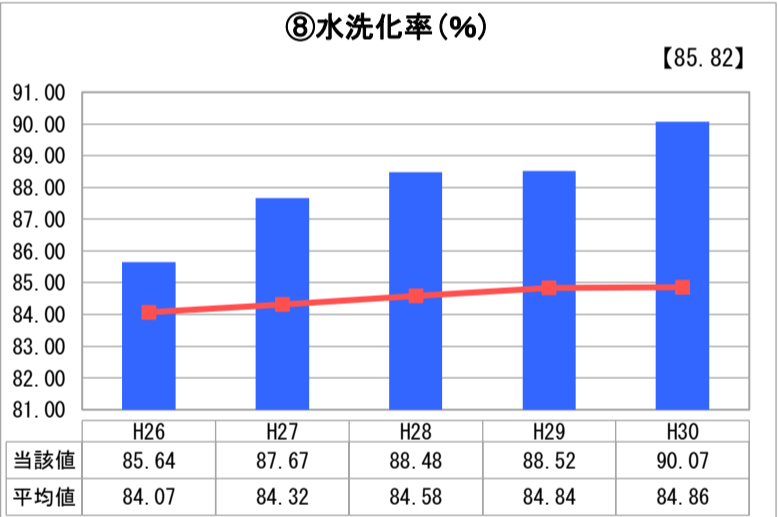
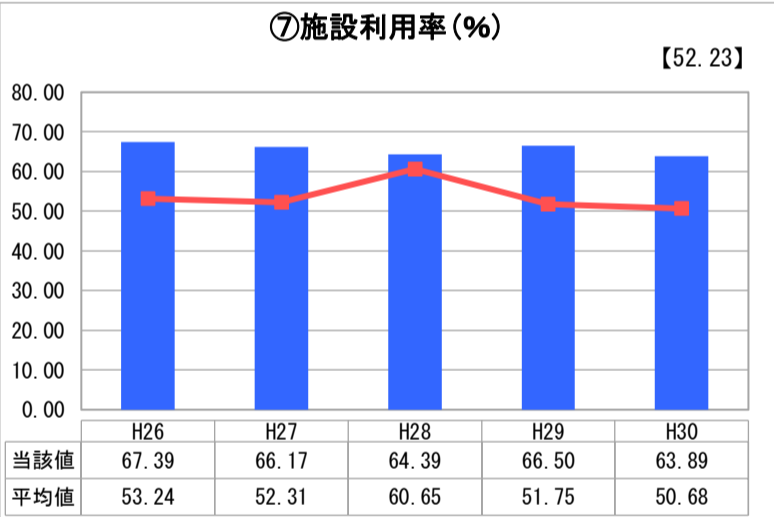
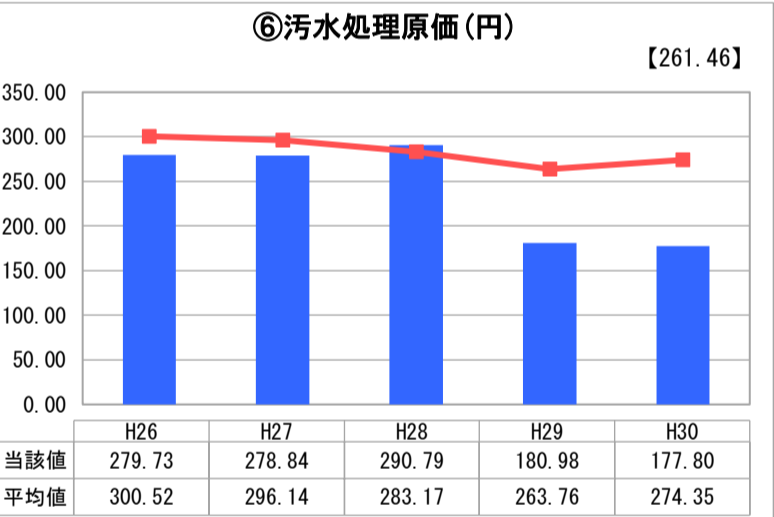
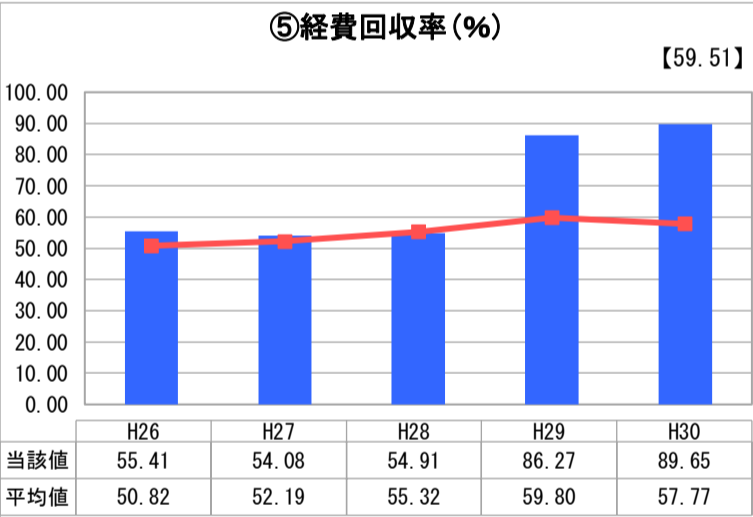
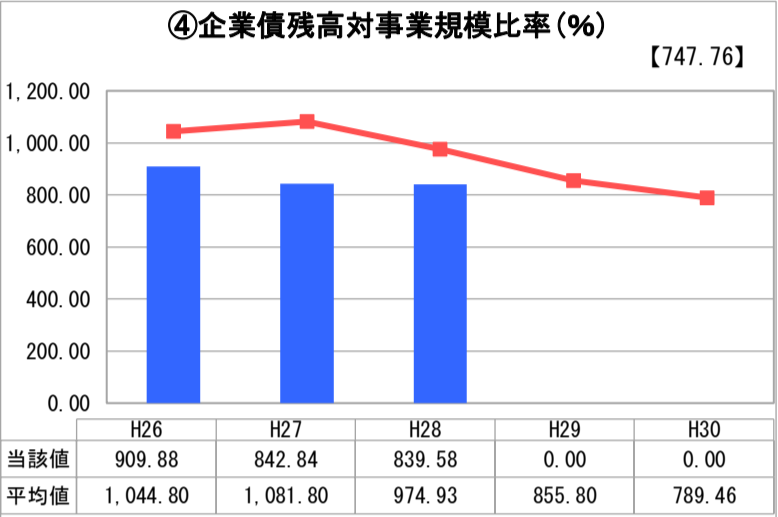
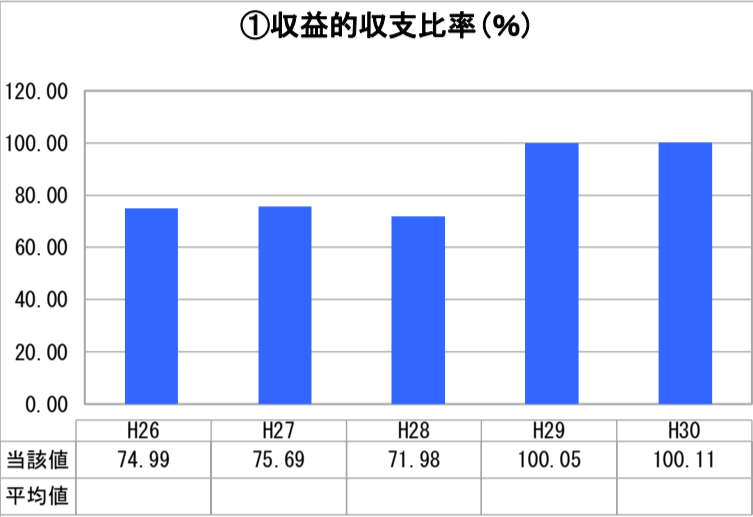
福井県 越前市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	4.17	79.81	2,624

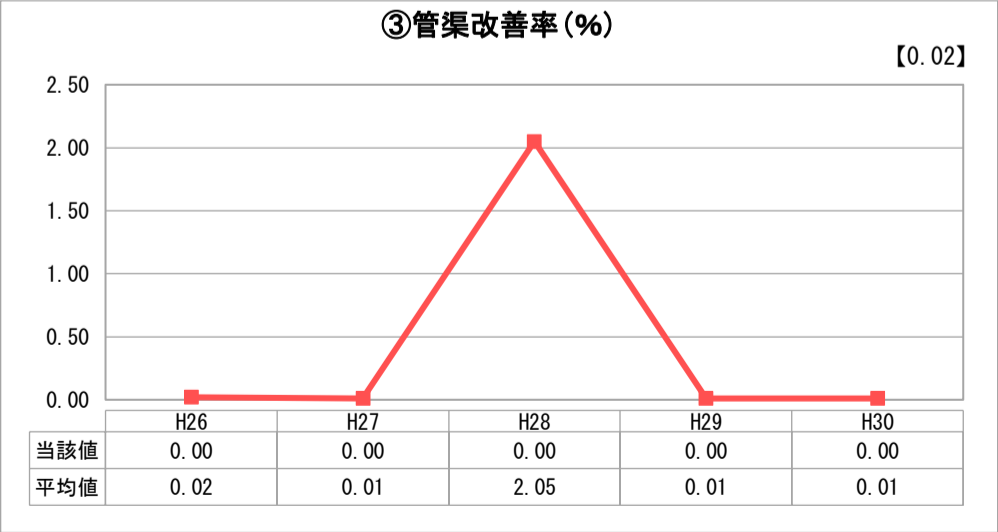
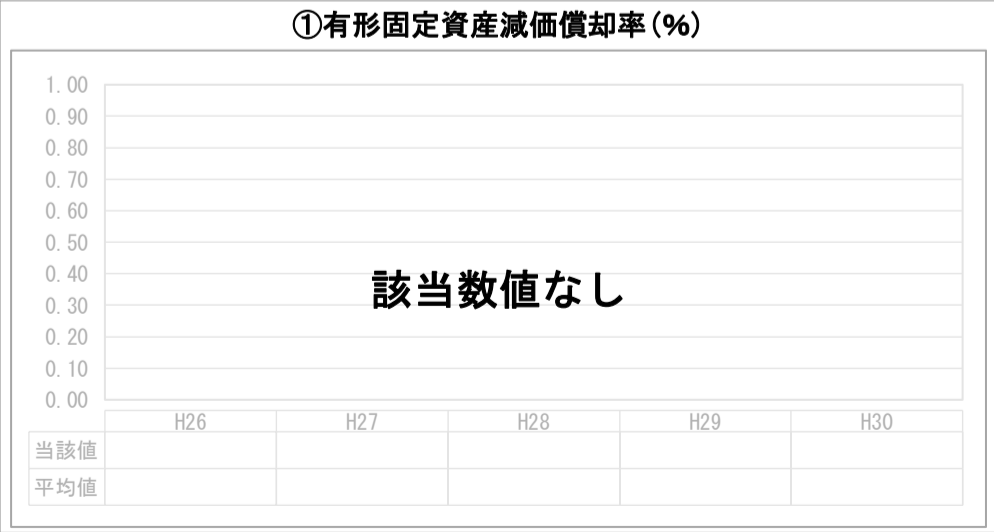
人口（人）	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
83,153	230.70	360.44
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,453	1.51	2,286.75

■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

一般会計からの繰出基準を見直したことにより平成29年度から経営指標が改善された。

本年度においては、①④⑤⑥の指標が前年度とほぼ横ばいまたは若干の改善している。  
⑧については、平成25年から供用開始した大塩国兼地区において、平成30年度当初に大口の一斉接続あったことにより伸びたが、そこから1年間はほぼ使用されず、基本使用料のみであったことから⑦の改善にはつながらなかった。しかし、平成31年度から本格的に使用開始されたため、今後は⑦が改善すると考えられる。

2. 老朽化の状況について

令和2年度の公営企業会計移行に伴う固定資産台帳整備により、資産ごとに経過年数や減価償却費が把握できることとなるため、本年度においては指標①②を求めることはできていない。

管渠の延長は約8kmで、最古のもので37年経過であることから、法定耐用年数を超えていないが、経年劣化による管接手部からの雨水侵入と見られる処理効率の悪化が発生している。また、電気・機械設備においては、耐用年数を超えてなお稼働しているものが多数あることから、令和2年度中にストックマネジメント計画を策定し、適期の修繕・更新を図っていく。

全体総括

本事業は、市内6か所の集落排水施設にて運営しているもので、平成25年の大塩国兼地区の供用開始を最後に整備が完了している。水洗化率も、大塩国兼地区を除く残りの5地区では93.3%と高い水準にある。これらのことから、本事業の収益を増加させるには、大塩国兼の水洗化向上が非常に重要である。

本事業だけでは事業規模が小さく、使用料単価は公共下水道や特定環境保全公共下水道に準じていることから、今後は特環を含む公共下水道と一体となって、地元区長との連携による地域ぐるみでの水洗化促進や滞納整理の強化などによる収益確保と、水道事業との業務一元化やアウトソーシング推進による経費削減への取り組みを実施していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。